

名立区 地域協議会だより

【第40号】 2021年9月25日発行

発行：名立区地域協議会
 編集：協議会だより編集委員
 事務局：名立区総合事務所
 総務・地域振興グループ
 電話：025-537-2121

ろばた館に関するアンケートへのご協力 ありがとうございました！

ご協力に御礼申し上げます

会長 原田 秀樹

先般当協議会にて、地域住民の皆さんのご意見をお聞きするべく、アンケートを実施させていただきました。アンケートを実施させていただき、多くの皆さんからご協力をいただき、誠にありがとうございました。このアンケート結果を精査・集約し、今後の協議に活用させていただきます。

日常の内にある様々な地域課題を協議するなかで、この「ろばた館」についての協議が始まりましたが、地域協議会としてどのような方向性を見いだせるか、どのような形で答えをご提示できるか、まだまだ協議を深めていかなければと思っています。この度のアンケート実施に際し、地域住民の皆さんのご協力に御礼申し上げます。今後とも当協議会をよろしくお願います。



(当会委員によるアンケート袋詰めの様子)

令和3年度地域活動支援事業【追加募集】～4件を採択しました～

私たちの地域をもっと住みよく、もっと元気にするため、地域の皆さんが行うまちづくり活動を追加募集したところ、名立区では4件の提案がありました。

当協議会では、8月19日に、提案をいただいた団体を招いてプレゼンテーション審査を実施した結果、全ての事業を採択しました。当区では当初募集で7件の事業を採択しているため、今回の追加募集と合わせ11件の事業が採択となりました。

当協議会では、地域協議会だより等を通して、地域活動支援事業を活用した取組を地域の皆さんへお伝えしていく予定です。※下記の採択事業は、受付順で掲載しています。

追加募集で採択した事業 【採択額】	団体名	事業概要
名立中学校野球部活動支援事業 【584千円】	名立中学校 野球部保護者会	古くなった練習器具を更新し、生徒が安全に野球に取り組むことができる環境を整え、部活動を通じた人間形成・体力向上に加え、地域を支える人材の育成につなげる。
横町セントラルパークづくり事業 【201千円】	横町山・川町 内会	地域の活性化を図る目的で整備した「横町セントラルパーク」を今後も維持していくため、花壇の土の補充を行う。
名立区老人クラブ連合会 グラウンドゴルフ大会事業 【165千円】	名立区老人ク ラブ連合会	コロナ禍の中、高齢者でも手軽に屋外で楽しむことができるグラウンドゴルフ大会を実施し、心身の健康維持、運動不足の解消、及び交流機会の創出につなげる。
名立の歴史を紹介するマップを作成し発信する事業 【101千円】	ふるさと名立 のくらしと文 化伝統を語り 継ぐ会	名立区の歴史的に由緒あるお寺や宿屋を紹介するマップを作成し、発表することで、名立区の歴史を次世代に継承することに加え、全国の歴史愛好家の来訪を促す。

※採択額が募集額を超過したため、4事業の補助希望額の案分により算出した金額を減額し、採択額を決定しました。なお、今回の事業採択により、今年度の事業募集は終了となります。



地域活動支援事業を活用した事業に参加してきました



狼煙上げ雑感

徳田 幸一

8月22日、第96回謙信公祭が行われた。2年連続のコロナ禍で、集客イベントはほとんど中止されて寂しい。祭の開始を告げる合図として、各地で狼煙上げが行われており、当地では地域活動支援事業を活用し、「名立の100年後を創造する会」が、旧山海荘近くの砂防ダム付近で狼煙上げを行った。当日は曇天ながら佐渡、能登半島が一望できた。午前9時、女児2人により点火。無風で勢いよく白煙が天高く昇り、迫力満点。地界では名立太鼓の演奏が響いた。途中2度のにわか雨にも負けず、無事終了。準備に携わったスタッフに感謝。



(狼煙上げの様子)



不動山に登ってきました【開催日:2021年7月18日】



不動山登山に参加して

二宮 香里

4年前に安藤前委員が参加し、大変感銘を受けていた不動山に、機会があれば登ってみたいとずっと思っていました。

友人から借りた杖を手に、登るぞ！と気合い十分でしたが、まずは下り。晴天続きだったはずなのに、ぬかるんだ道と、道中の沢渡りで、買ったばかりの靴はドロドロ。とにかく足もとばかりを見て歩きました。

途中の見晴台で見た不動山はきれいでしたが、目指す山がまだまだ遠いことに愕然としました。何度も小休憩を挟み水分・栄養補給をしました。道中の険しい坂や細い横道にはロープが張られ、きれいに草刈りがされていました。3時間半ほどで山頂に到着し、出迎えてくれた祠にお参りしました。

祠が再建されて105年になる1989年7月2日に不動山百年祭が行われたそうです。今は亡き義祖父が官司で当時80歳を過ぎていたにもかかわらず、登山して神事を行い、一緒に登頂した孫にあたる義弟が三番叟を奉納したそうです。

期待していた大パノラマは、雲に覆われほとんど見えず残念でした。

帰りに頂いた入浴無料券を使い、ろばた館で汗を流しました。すっかり疲れもとれたので、今度は芭蕉(ばしょう)ヶ池コースでも下山してみたいという気持ちになりました。

整備前の登山道は倒木が多く、大変荒れていたと聞いています。登山道を整備された不動町内会の皆さんや、当日の運営に尽力されたスタッフの方々に感謝申し上げます。



(不動山山頂を上から撮影)



(整備前の登山道を塞ぐ倒木)

編集後記

「お七夕様よ、又来年ござれよ」、これは竹田勘兵衛が遊びの少なかった当時の子供達の為につくられた七夕祭のお囃子です。今から60数年前の子供の頃、夏休みはラジオ体操が終わるとお宮に集まり勉強をし、その後、縁の下で提灯造りでした。材料は各家から頂きました。珍しいのはぶら下げる紐です。何と本物の麻を撚ったものでした。当時はまだ麻栽培が行われていて、丁度この時期は、大きな釜で茹でていました。その釜でトウモロコシを焼いてもらい食べたものです。当時は何か動物もトウモロコシを食べませんでした。

今となつては全てが夢の世界ですが・・・。

(編集委員 中野 裕)

